

## アジア諸国の経済実績と持続可能な発展

山本一巳  
(愛知大学)

戦後の世界の経済発展を地域的にみても、アジア地域が最も順調な歩みを示している。日本が最初に奇跡の復興を成し遂げ、10年後にはNIEs、さらに10年後には先発ASEAN諸国が続いた。そして中国は1978年末の改革開放以降年率平均約10%の経済成長を30年にわたって達成してきている。加えてインド、ベトナムなどの後発国も高度経済成長の仲間入りを果たしてきている。アジアではまさに近隣諸国の成功に刺激される形で後発国が先発国を追い上げる成長の好循環が享受されているといえる。

このようなアジアの経済発展は地球温暖化に大きな影響を与えるものと予測される。それはアジアには人口大国が集中しているからである。2006年現在世界に1億人を超える人口の国が11カ国存在するが、そのうちアジアは中国、インドの10億人を越える世界の2大人口に加え、インドネシア、パキスタン、バングラデッシュ、日本の計6カ国を抱えている。日本を除く国は途上国であり、二酸化炭素排出削減を謳った京都議定書による削減義務を免れている。そのためこれら諸国の経済発展の環境面でのこれまでの実績を点検しておくことは今後の持続可能な発展の展望を行う上で不可欠である。

それでは持続可能な発展とは何であろうか。人々の福利が持続的に改善されることである。これにはいろいろの要因が絡んでくるが、最も一般には地球環境との関連で主に議論が行われている。地球環境が破壊されれば、人々の福利そのものも脅威にさらされるからである。この議論は広範囲に亘り、地球レベル、地域レベル、国レベルでの議論が求められる。地球レベル、地域別レベルの議論は国際社会の場面で頻繁に行われ、その対策が講じられている。

ここではアジア諸国の国レベルにおいて国間の比較分析を行う。この分野での先行研究は少ない。そこで国レベルで持続可能な発展に深く関わっているものを抽出し、その指標を点検することが生産的である。地球温暖化の環境への影響は人口と豊かさと技術を掛け合わせたものと規定されるからである。最初にアジア諸国の経済実績を経済成長率と一人当たり所得からみえる。そしてそれに大きく貢献した輸出伸張を点検する。次に人間開発について触れ、さらに経済発展に関連する要因を議論する。最後に持続可能な発展を規定するものとして人口、技術、環境保全についてのこれまでの実績を検討する。

アジア諸国の経済成長の実績について、各年代の年平均成長率を高い国順に5位まで並べると次の通りである。1960年代では日本、香港、台湾、シンガポール、韓国、1970年代では台湾、韓国、香港、シンガポール、マレーシア、1980年代では中国、韓国、香港、シンガポール、台湾、1990年代では中国、ベトナム、シンガポール、マレーシア、カンボジ

ア、2000-2006年では、中国、カンボジア、ミャンマー、ベトナム、インドである。(表1)

アジアはこの間1997年7月2日にタイのバーツ通貨の大幅な切り下げに端を発した通貨危機に見舞われている。この通貨危機は金融危機、経済危機へと深化し、近隣諸国に伝播していった。通貨危機・経済危機に見舞われた国は、タイ、インドネシア、韓国、マレーシア、フィリピンである。そして、IMFから緊急融資を受けた国はタイ、韓国、インドネシアで、マレーシアは固定相場制に復帰した。国によっては社会・政治危機にまで発展、インドネシアでは32年間続いたスハルト政権が1998年5月に崩壊した。しかしこれら危機に見舞われた国も2-3年の調整過程を経て経済回復に成功した。

各国とも順調な経済発展を続けているが、一人当たり所得で見ると、まだ大きな格差が存在している。2006年時点で、1万ドル以上の高所得国が日本、香港、シンガポール、韓国、台湾、ブルネイ、1万ドル以下の中所得グループがマレーシア、タイ、モルジブ、中国、インドネシア、フィリピン、スリランカ、モンゴル、千ドル以下の低所得グループがブータン、インド、パキスタン、ベトナム、ラオス、カンボジア、ネパールである。(表1)

輸出の成長と経済成長は高い相関関係がみられる。特に韓国の輸出伸張は凄まじいものがあり、1960年代から急速な輸出ドライブがかかっている。他のNIEsの国である香港、台湾、シンガポールも軒並みに高い成長を達成している。貿易が成長のエンジンであるとよくいわれるが、まさにNIEsはこれにあてはまる。これに続く国としてはASEANのタイ、マレーシアである。1980年代からは中国が急速に輸出を伸張させている。そのため殆どの国の輸出依存度はきわめて高く国際市場に大きく影響される構造となっている。(表2)

経済成長はかつて一人当たり所得の増大と同義と考えられていた。しかしその後、経済発展はより広義の内容を含むものとして理解されるようになった。経済成長は経済規模の量的拡大、すなわちGDPの増大を指すのに対し経済発展は量的拡大のみならず生活面での質的な改善をも含んでいる。具体的にはインフラなどの制度面の充実、教育・医療などの普及、所得間格差の是正などを含むものと理解されている。それらを示す一つの指標として、寿命、知識、一人当たり所得を合成して作成されている人間開発指数がある。アジア諸国は経済成長では他の地域を凌駕しているが、人間開発の面ではNIEsを除くと世界の他の諸国にまだ遅れをとっていることが窺える。これは多くの国の所得水準がまだ低いことによるものである。

経済発展に貢献した要因としては、前提として政治的安定、経済の開放性、市場競争が不可欠である。アジア諸国で経済発展に成功した国はこの条件を満たしていた。他に考えられるのは地理的条件、天然資源の賦存度、農業の役割、工業の役割、人口、行政・制度、経済政策、人的資源、価値観、政府の役割、外国援助である。すべての国に当てはまる要因を抜き出すのは至難の業であるが、これらの組み合わせがそれぞれの国の異なる経済開発道程を導いたと考えられる。

ノーベル経済学受賞者であるDouglass C. Northは、経済変動は単なる経済要因以上のものによってもたらされると主張している。すなわち、人口、知識の集積、制度である。ここ

ではこれらのうち人口、技術面からアジア諸国の実績を検討してみた。人口面では、1990-2006年における世界の年平均増加率1.4%を上回ったのは、ブータン、カンボジア、シンガポール、モルジブ、パキスタン、マレーシア、ネパール、ラオス、フィリピン、バングラデッシュ、インド、ベトナムである。2006-2015年における世界の年平均予測増加率1.1%を上回るのは、ブータン、パキスタン、カンボジア、フィリピン、ラオス、ネパール、バングラデッシュ、モルジブ、マレーシア、ベトナム、インドである。ただ先発国は早い時期に人口圧力を克服している。ここに高所得国のシンガポールと上位中所得国のマレーシアが含まれているが、両国は人口が過小なため人口増加を政府が奨励していることが反映されている。従属人口比率を2006時点で見ると、日本、香港を除くと、若年人口のシェアが高い。高い順に、ラオス、ネパール、カンボジア、フィリピン、バングラデッシュ、パキスタン、マレーシア、インドである。今後これらの国では人口ボーナスといわれる生産年齢人口（15-64歳）が増加し経済の活性化をもたらすものと予想される。しかしそれは新規労働者が大量に労働市場に参入してくるわけで、その分雇用創出が緊急の課題となってくる。（表4）

科学技術面の進展では、電話普及台数では多い順に香港、韓国、日本、シンガポール、中国、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、タイ、携帯電話では香港、シンガポール、韓国、マレーシア、日本、モルジブ、タイ、フィリピン、中国、インターネット利用者数では韓国、日本、シンガポール、香港、マレーシアとなっている。特許はまだ国の数が少なく、最も多いのが韓国、日本、シンガポール、モンゴル、中国、ライセンス使用・許可料では日本、シンガポール、韓国、香港である。R&DのGDPに占めるシェアは、日本、韓国、シンガポール、中国、R&Dに従事する研究者は日本、シンガポール、韓国、香港、中国である。これらの指標でみる限り、日本がもはやトップを走っているわけではなく、NIEsの韓国、シンガポール、香港などがある分野では日本を凌駕している、これらの国を中国が急速に追いかけているのが統計数字で裏付けられる。（表5）

アジア諸国の環境保全の取り組みとして、地球温暖化に大きな影響を与えている二酸化炭素の排出量のこれまでの趨勢をみると次の通りである。二酸化炭素の排出量の年平均成長率が5%を超える国は、1970-90年ではインドネシア、韓国、バングラデッシュ、タイ、モンゴル、カンボジア、香港、インド、パキスタン、マレーシア、中国、北朝鮮、1990-2004年ではラオス、ベトナム、ネパール、スリランカ、バングラデッシュ、タイ、ミャンマーである。これをみる限り後発国ほど二酸化炭素の排出量が多くなっている。

二酸化炭素の排出量の総量で分けると次の3つのグループとなる。10億トン以上が中国、インド、日本、10億トン以下が韓国、インドネシア、タイ、マレーシア、1億トン以下が残りの国である。今後特に中国、インドの動向が注目される。中国、インドは世界第2、第3の二酸化炭素排出国であり、人口の桁はずれた多さと急速な経済成長の継続、電力エネルギーの3分の2以上を石炭に依存しているからである。（表6）

持続可能な発展を達成するためには経済成長が前提とされる。2007年のアメリカのサブ

プライム・ローン問題に端を発し現在進行している世界同時不況は経済成長の重要性を再認識させるものである。世界経済が一斉に冷え込むことによって地球温暖化への意識やそれへの支出が大きく制限されることになるからである。特にまだ経済発展への足がかりをつかめない途上国の多くはさらなる苦吟を強いられることになる。ただ持続可能な発展のためには、経済成長に関わる環境への負担を取り除くことが求められることはいうまでもない。

国レベルでの持続可能な発展の議論では何かを特定する必要がある。そこで国内の自然資源の保護が最も求められる。自然資源は人間活動の土台を提供すると共に経済活動のための原材料を提供している。空気、水、鉱物、植物、動物、それらを形成している生態系を含んでいる。自然資源を枯渇する開発戦略は持続可能なものでないことは自明である。そのため自然資源の健全な管理・運用はどの国にとっても欠かせない。再生可能な資源、自然資源の非市場価値の測定方法、自然資源利用やリサイクルに関する研究や評価の促進、自然資源保全のためのマーケットの活用（関連環境税、取引許可証、環境悪化につながる補助金の見直し）、長期的費用便益分析、先進国からの自然資源保護への支援・人材育成などである。さらに国レベルでの持続可能な経済発展を考察するには、経済面、社会面、環境面からの総合的なアプローチが必要である。その際には国際機関が公表している持続可能な発展に関わる指標の点検と整備が求められる。

持続可能な発展の重要性は近年頻発し、規模が拡大している自然災害から思い知らされる。アジアの例でいえば、2004年の津波、2008年のミャンマーのサイクロン、中国の四川大地震などが挙げられる。自然災害の発生が我々に持続可能な発展の必要性を喚起させてくれていることを肝に銘ずるべきである。

表1 アジア諸国の経済実績

	GDP 年平均成長率					国民総所得		PPP 国民総所得		1人当たり所得の推移		
	(% )					(GNI)		(GNI)		1980	1990	2000
	1960	1970	1980	1990	2000	10億\$ 1人当たり\$		10億\$ 一人当たり\$				
	-1970	-1980	-1990	-2000	-2006	2006	2006	2006	2006			
東アジア												
日本	10.5	5.0	4.1	1.1	1.5	4,934.7(2)	38,630(19)	4,195.9	32,840(31)	9,890	25,430	34,210
中国	5.2	5.8	10.1	10.6	9.8	2,621.0(4)	2000(130)	8,610	6,600	290	370	840
香港	10.0	9.3	6.9	4.1	4.8	199.1(32)	29,040(31)	268.8	39,200(12)	4,240	11,490	25,950
韓国	8.6	9.5	9.4	5.8	4.6	856.6(12)	17,690(51)	1,113.0	22,990(50)	1,520	5,400	8,910
モンゴル	...	...	5.4	1.0	7.1	2.6 (158)	1000(153)	7.3	2,810(150)	...	...	390
台湾	9.2	10	6.6	6.4	3.6	333.4	14,770					
						(2004)	(2004)					
東南アジア												
カンボジア	3.1	...	...	7.0	9.5	7.0(123)	490(180)	22.1	1,550	...	...	260
インドネシア	3.9	7.6	6.1	4.2	4.9	315.9(24)	1,420(140)	732.2	3,310(149)	430	570	680
ラオス	...	...	3.7	6.5	6.4	2.9(155)	500(178)	10.0	1,740(169)	...	200	290
マレーシア	6.5	7.8	5.3	7.0	5.0	146.8(37)	5,620(79)	317.4	12,160(75)	1,620	2,320	3,380
ミャンマー	...	...	0.6	6.9	9.2					170		
フィリピン	5.1	6.3	1.0	3.3	4.9	120.2 (44)	1,390(142)	296.2	3,430(146)	690	730	1,040
シンガポール	8.8	8.5	6.7	7.6	5.4	128.8 (41)	28,730(33)	194.1	43,300(9)	4,430	11,1600	24,740
タイ	8.4	7.2	7.6	4.2	5.4	193.7(33)	3,050(110)	472.2	7,440(104)	670	1,420	2,010
ベトナム	...	...	4.6	7.9	7.6	58.5(58)	700(169)	194.4	2,310(157)	...	...	390
南アジア												
バングラ	3.7	3.9	4.3	4.8	5.6	70.5(55)	450(182)	191.9	1,230(180)	130	210	380
ブータン	...	...	7.5	...	7.4	0.8	870	...	...	80	190	550
インド	3.4	3.6	5.3	5.9	7.4	909.1(10)	820(161)	2,726.3	2,460(155)	240	350	460
モルディブ	...					0.8	2,390	...	...			1,460
ネパール	2.5	2.5	4.6	4.9	3.3	8.8(114)	320(192)	27.8	1,010(188)	140	170	220
スリランカ	4.6	4.1	4.0	5.3	4.8	26.0(79)	1,310(144)	74.2	3,730(143)	270	470	870
パキスタン	6.7	4.7	6.3	3.8	5.5	126.7(42)	800(162)	382.8	2,410(156)	300	380	470
低・中所得国				3.9	5.7	10,997.0	1,997	24,430	4,436		840	1,230
東アジア・太平洋				8.5	8.6	3,524.7	1,856	8,277	4,359		600	1,060
欧州・中央アジア				-0.9	5.8	2,217.1	4,815	4,509	9,791		2,400	2,010
ラテンアメリカ				3.2	3.1	2,661.2	4,785	4,828	8,682		2,180	3,680
中東・北アフリカ				3.8	4.2	778.8	2,507	2,084	6,710		1,790	2,040

南アジア	5.5	7.0	1,151.3	768	3,432	2,289	330	460
サハラ以南	2.5	4.7	647.9	829	1,314	1,681	340	480
高所得国	2.7	2.3	37,731.7	36,608	36,005	34,933	19,590	27,510
世界	2.9	3.0	48,694.1	7,448	60,210	9,209	4,200	5,150

(注) 国民総所得のカッコ内の数字は世界の国の中での順位を示している。

出所: 次の資料から作成。The World Bank, *World Development Report 1982, 1992, and 2002.*

The World Bank, *2008 World Development Indicators.*

Table 2 商品貿易成長

	年平均輸出成長率(%)					2006 (\$ million)		輸出 /GDP(%) 2006	A	B
	1960	1970	1980	1985	1995	輸出	輸入			
	-1970	-1980	-1990	-1995	-2006					
東アジア										
日本	17.2	8.9	4.2	1.5	4.2	647,137	577,472	14.9	92	22
中国	...	4.8(1965-80)	11.0	17.7	18.8	969,073	791,614	36.3	92	31
香港	12.7	9.4	6.2	19.1	5.4	322,664	335,753	170.0	96	34
韓国	34.1	23.0	12.8	13.9	8.8	325,681	309,309	37.0	91	32
モンゴル	...	...	...	-7.7	10.1	1,529	1,489	56.9	21	0
台湾		18.9(1965-80)	12.1							
東南アジア										
カンボジア	...	...	...	50.3	17.0	3,770	4,900	52.4	97	0
インドネシア	4.0	8.7	2.8	11.7	5.6	103,964	78,393	28.5	47	16
ラオス	...	...	...	21.7	5.7	780	1,694	28.8	27	2
マレーシア	5.8	7.4	10.3	18.0	6.8	160,556	130,989	107.8	75	55
ミャンマー	-11.6	0.4		14.8	18.0					
フィリピン	2.2	7.0	2.5	13.1	7.7	47,028	51,980	47.0	89	71
シンガポール	4.2	12.0	8.6	17.9	7.0	271,772	238,652	205.6	81	57
タイ	5.2	11.8	13.2	22.2	7.8	130,575	128,600	63.3	77	27
ベトナム	...	-0.3(1965-80)	-0.9	22.7	18.1	39,605	44,410	65.0	53	6
ブルネイ										

南アジア										
バングラデッシュ	6.5	-1.9	7.6	14.1	9.3	120,050	16,100	19.4	90	0
ブータン	...	...								
インド	3.0	3.7	6.5			120,168	174,376	13.3	70	5
モルジブ										
ネパール	...	...	...	11.7	7.8	760	2,100	9.4	74	0
スリランカ	4.7	-2.4	3.8	12.1	4.4	206,186	318,757	25.4	70	1
パキスタン	8.2	1.2	9.0	10.7	6.5	16,917	29,825	13.1	82	2

出所：次の資料から作成。The World Bank, 2008 World Development Indicators, 2008. and World Development Report 2008, 2007.

注：A は 2005 年における全商品輸出に占める製造業品輸出の比率。B は 2005 年における全商品輸出に占める高技術輸出の比率。

Table 3 人間開発指数の趨勢

	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2005 HDI 順位
東アジア								
日本	0.861	0.886	0.899	0.916	0.929	0.941	0.953	8
中国	0.530	0.559	0.595	0.634	0.691	0.732	0.777	81
香港								
韓国	0.763	0.803	0.830	0.865	0.886	0.919	0.937	21
モンゴル	0.713	0.747	0.785	0.825	0.861	0.892	0.921	26
台湾	...	...	0.637	0.654	0.638	0.667	0.700	114
北朝鮮								
東南アジア								
カンボジア	...	...	...	...	0.540	0.547	0.598	131
インドネシア	0.471	0.533	0.585	0.626	0.670	0.692	0.728	107
ラオス	...	...	0.448	0.478	0.524	0.563	0.601	130
マレーシア	0.619	0.662	0.696	0.725	0.763	0.778	0.804	63
ミャンマー	...	...	...	...	...	...	0.583	132
フィリピン	0.655	0.688	0.692	0.721	0.739	0.758	0.771	90
シンガポール	0.729	0.762	0.789	0.827	0.865	..	0.922	25
タイ	0.615	0.654	0.679	0.712	0.745	0.761	0.781	78
ベトナム	...	...	0.590	0.620	0.672	0.711	0.733	105
ブルネイ	...	...	...	...	...	...	0.894	30

南アジア	0.347	0.365	0.392	0.422	0.453	0.511	0.547	140
バングラデッシュ	...	...	...	...	...	...	0.579	133
ブータン	0.419	0.450	0.487	0.521	0.551	0.578	0.619	128
インド	...	...	...	...	...	...	0.741	100
モルジブ	0.301	0.338	0.380	0.427	0.469	0.502	0.534	142
ネパール	0.619	0.656	0.683	0.702	0.721	0.731	0.743	99
スリランカ	0.367	0.394	0.427	0.467	0.497	0.516	0.551	136
パキスタン								

出所: 次の資料から作成。UNDP, *Human Development Report 2007/2008*, 2007.

注: 177 カ国について指数が発表されている。高人間開発は 0.800 以上、注人間開発は 0.500-0.799、低人間開発は 0.500 以下。

表 4 アジア諸国の人口の趨勢と特徴

	人口 (百万人)			年成長率 (%)		年齢構成 (%)						従属人口比率 (%) 2006		
	1990	2006	2015	1990	2006	1990			2006			若年	老年	
				-2006	-2015	0-14	15-64	65+	0-14	15-64	65+			
東アジア	1331.9	1544.0	1613.7											
日本	123.5	127.8	124.5	0.2	-0.3	18	70	12	13.8	66.0	20.3	20	30	
中国	1135.2	1311.8	1382.5	0.9	0.6	28	67	5	21.1	71.1	7.8	30	10	
香港	5.7	6.9	7.4	1.2	0.9	22	70	9	14.8	73.2	12.1	20	20	
韓国	42.9	48.4	49.2	0.8	0.2	26	69	5	18.1	72.0	9.8	30	10	
北朝鮮	20.1	23.7	24.4	1.0	0.3				23.6	67.5	8.8	40	10	
モンゴル	2.1	2.6	2.9	1.3	1.1	41	57	3	28.0	68.1	4.0	40	10	
台湾	20.4	22.8				27	67	6						



東南アジア	436.2	556.2	616.8											
ブルネイ	0.3	0.4				35	62	3						
カンボジア	0.7	14.2	16.6	2.4	1.8	39	58	3	36.7	60.1	3.2	60	10	
インドネシア	178.2	223.0	245.1	1.4	1.0	37	60	4	28.0	66.3	5.6	40	10	
ラオス	4.1	5.8	6.7	2.2	1.7	44	53	3	38.9	57.5	3.5	70	10	
マレーシア	18.1	26.1	30.0	2.3	1.5	37	59	4	31.0	64.6	4.4	50	10	
ミャンマー	40.1	48.4	51.9	1.2	0.8	36	60	4	26.7	67.7	5.6	40	10	
フィリピン	61.2	86.3	101.0	2.1	1.8	39	58	4	35.8	60.3	3.9	60	10	
シンガポール	3.0	4.5	4.8	2.4	0.8	23	71	6	18.8	72.4	8.8	30	10	
タイ	54.3	63.4	66.6	1.0	0.5	32	64	4	21.4	70.6	8.0	30	10	
ベトナム	66.2	84.1	93.7	1.5	1.2	39	56	5	28.9	65.6	5.6	40	10	
南アジア	978.3	1290.0	1,658.7											
バングラ	113.0	156.0	180.0	2.0	1.6	41	56	3	34.7	61.7	3.6	60	10	
ブータン	.....	0.8		3.1	2.4	42	54	4	38	57	5			
インド	849.5	1109.8	1232.2	1.7	1.2	36	60	4	32.5	62.4	5.0	50	10	
モルディブ	0.2	0.3		2.4	1.6	47	50	3	33	63	4			
ネパール	19.1	27.6	32.2	2.3	1.7	42	55	3	38.5	57.8	3.7	70	10	
スリランカ	17.0	19.9	20.5	1.0	0.3	35	61	4	23.7	69.7	6.6	30	10	
パキスタン	108.0	159.0	191.9	2.4	2.1	46	52	3	36.4	59.7	3.9	60	10	
世界	5263.9	6538.1	7200.7	1.4	1.1				28.0	64.6	7.4	40	10	

出所：次の資料から作成。ADB, *Key Indicators 2006, 2006. The World Bank, 2008 World Development Indicators, 2008.*

Table 5 技術伝播・創出

	電話台数 (1,000人当たり)		携帯電話 (1,000人当たり)		インターネット 利用者 (1,000人当たり)		特許数 (100万人当 たり)	使用・許可料 (一人当たり ドル)	R&D支出 (GDPに占める 比率)	R&D研究者 (100万人当 たり)
	1990	2005	1990	2005	1990	2005	2000-2005	2005	2000-2005	1990-2005
東アジア										
日本	441	460	7	742	668		857	138.0	3.1	5,287
中国	6	269		302	0	85	16	0.1	1.4	708
香港	434	546	23	1,252	0	508	5	31.2	0.6	1,564
韓国	310	492	2	794		684	1,113	38.2	2.6	3,187
モンゴル	32	61	0	218	0	105	44	...	0.3	...
台湾										
北朝鮮										

東南アジア										
カンボジア	3	0	75	0	3	...	...	...	...	...
インドネシア	6	58	213	0	73	...	12	0.1	207	...
ラオス	2	13	0	108	0	4	...	...	...	...
マレーシア	89	172	5	771	0	435	...	1.1	0.7	299
ミャンマー	2	9	0	4	0	2	...	0.0	0.1	17
フィリピン	10	41	0	419	0	54	...	0.1	0.1	48
シンガポール	346	425	17	1,010	0	571	96	125.8	2.3	4,999
タイ	24	110	1	430	0	110	1	0.3	0.3	287
ベトナム	1	191	0	115	0	129	...	...	0.2	115
ブルネイ	136	224	7	623	0	277	...	...	0.0	274
南アジア										
バングラデッシュ	2	8	0	63	0	3	...	...	0.6	51
ブータン	3	51	0	59	0	39	...	...	...	...
インド	6	45	0	82	0	55	1	...	0.8	119
モルジブ	20	98	0	466	0	59	...	8.6	...	...
ネパール	3	17	0	9	0	4	...	...	0.7	59
スリランカ	7	63		171	0	59	...	8.6	...	...
パキスタン	8	34		82	0	67	0	0.1	0.2	75

出所: 次の資料から作成。UNDP, *Human Development Report 2007/2008*, 2007.

Table 6 二酸化炭素排出量の趨勢

	年平均成長率		総量		全体に占める固定燃料の		一人当たりトン		2005年一人当たりGDP	
	(%)		(100万トン)		比率(%)		1990 2004		(PPP換算)キログラム	
	1970-90	1990-2004	1990	2004	1990	2004	1990	2004	1990	2004
東アジア										
日本	1.0	1.1	1,070.4	1,256.8	28.5	38.0	8.7	9.8	0.3	0.3
中国	5.7	4.0	2,398.2	5,005.7	80.5	71.9	2.1	3.9	1.9	1.0
香港	6.9	2.5	26.2	37.4	69.2	53.2	4.6	5.5	0.2	0.2
北朝鮮	5.1	-11.2	244.6	79.0	91.2	92.1	12.1	3.4	..	..
韓国	7.8	4.4	241.1	465.2	38.7	43.8	5.6	9.7	0.5	0.5
モンゴル	7.4	-2.1	10.0	8.5	73.2	79.5	4.7	3.4	2.0	1.4
東南アジア										
カンボジア	7.2	1.1	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	..	0.0
インドネシア	8.0	3.8	213.8	377.9	3.7	10.0	1.2	1.7	0.6	0.6
ラオス	-4.2	15.8	0.2	1.3	1.6	60.2	0.1	0.2	0.1	0.1

マレーシア	6.4	6.9	55.3	177.4	9.8	19.8	3.1	7.0	0.5	0.6
ミャンマー	1.2	6.2	4.3	9.8	6.4	3.9	0.1	0.2	0.3	0.3
フィリピン	1.6	4.6	43.9	80.4	13.0	28.7	0.7	1.0	0.3	0.3
シンガポール	3.6	1.0	45.1	52.2	0.2	0.0	14.8	12.3	0.6	0.3
タイ	7.6	6.3	95.7	267.8	14.2	21.6	1.8	4.3	0.4	0.6
ベトナム	-0.3	11.9	21.4	98.6	51.5	40.1	0.3	1.2	0.4	0.6
南アジア										
バングラデッシュ	7.8	6.9	15.4	37.1	6.9	3.6	0.1	0.2	0.2	0.2
インド	6.6	4.8	681.5	1,341.8	69.9	69.6	0.8	1.2	0.7	0.6
ネパール	6.9	10.3	0.6	3.0	5.2	26.3	0.0	0.1	0.0	0.1
スリランカ	1.0	8.5	3.8	11.5	0.1	2.2	0.2	0.6	0.1	0.2
パキスタン	6.6	4.0	68.0	125.6	12.5	13.5	0.6	0.8	0.4	0.4
低所得国	2.8		1,337.9	2,082.9	63.1	58.5	0.8	0.9	0.6	0.5
中所得国	3.6	1.4	9,187.1	11,936.3	42.2	46.0	3.6	4.0	0.9	0.7
高所得国	0.6	1.5	10,929.8	13,382.1	34.7	32.7	11.9	13.2	0.5	0.4
世界	18W	1.6w	22,695.9	28,974.3	33.5	35.9	4.3	4.5	0.6	0.5

出所: 次の資料から作成。The World Bank, 2008 World Development Indicators, 2008.

注 2006年での低所得国は一人当たり GNI が 905 ドル以下、中所得国は 905 ドルから 11,116 ドル以下、高所得国は 11,116 ドル以上。